

和歌山電鐵株式会社 社長代理ウルトラ駅長の「たま」のご逝去の報を受け、たいへん驚き、また残念でなりません。

国内外を問わず「たま駅長」を愛する多くのファンが、今、深い悲しみに包まれております。

私も、今年の一月にここ貴志駅で開催された「たま駅長就任八周年記念式典」に出席した際、あらためて「たま駅長」の人気を目の当たりにし、貴志川線の守り神として、なくてはならない存在であると感じたところです。

平成二十四年一月からは「たま駅長」に「ニタマ駅長」という貴志駅駅長代行の部下が誕生し、乗降客の皆様をお出迎えました。

部下の「ニタマ駅長」は、伊太祈曾駅でも駅長業務をこなす上、和歌山市観光特別大使「アゼリニャ」として、和歌山市の観光PR活動や、イベントスタッフとして活躍しています。

部下は、しっかりと頑張っています。

このたびの「たま駅長」との別れは寂しい限りではありますが、これからも貴志川線の名誉永久駅長として、将来にわたり貴志川線を見守っていただきたいと思えます。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

私たちは「たま駅長」の愛くるしい姿を永久に忘れることは無いでしょう。

「たま駅長」本当に長い間ありがとうございました。

どうか安らかにお眠りください。

平成二十七年六月二十八日

和歌山市長 尾花 正啓